

# ゆめみにゅーす



# YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 44  
発行日 平成29年5月1日  
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園  
問い合わせ 044-588-4030

飼育展示数 哺乳類:25種159点  
鳥類:28種98点  
爬虫類:11種44点  
(平成29年4月末日現在)

## ごはんです



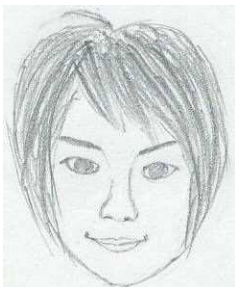
昨年11月、生まれて半年のマーコールの子(愛称:ごはん)がしばらく病院で入院生活を送ることに。やがて元気になったのですが、4ヶ月群れから離れていたブランクは大きく、うまく群れに戻っていきることができませんでした。最初のうちは人がリードをつけて一緒に群れの中をお散歩してみたところ、とても強気なのでためにリードを外してみたら、急に弱気になって他の個体から追いかけてしまったり。少しずつ段階を踏んで、ようやく群れの中で餌も食べられるようになってきました。今でも人を見ると鳴きながらトコトコ歩いて来てしまうことがあります。あえて突き放して陰から見守っているところです。もうきっと君なら大丈夫、がんばれ!



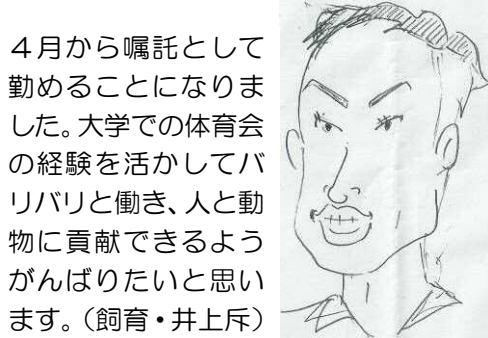
▲ 群れに馴染んできました

## ❀ 新任職員紹介 ❀

4月から新しく仲間入りした職員のご紹介です。



新しい仕事に悪戦苦闘する日々で動物たちにも「アンタ誰」と言う目で見られていますが、早く心を開いてもらえるよう努力しつつ、ヒトも動物も楽しく過ごせる園を目指したいと思います。(飼育・診療 石川真理子)



4月から囑託として勤めることになりました。大学での体育会の経験を活かしてバリバリと働き、人と動物に貢献できるようがんばりたいと思います。(飼育・井上斥)



まだてんでこ舞いの日々ですが、少しでも早く慣れて皆さんのお役にたてるようがんばります!(事務・板垣祐司)



# ★ピックアップ動物★

## オグロプレーリードッグ

哺乳綱 齧歯目 リス科



北米のプレーリー（平原）に穴を掘って暮らすリスの仲間で、キャンキャンと犬のような声を出すこともあるためその名がつけました。

現在夢見にいる3頭はみのピーターと、♀のスーザン、ルーシー。ピーターは昨年まで顎に膿がたまってしまい、しばらく入院・治療していましたが、膿の原因である折れた歯の根っこがきれいに摘出できて以来、再発もなく、とても元気です。

最近獣舎を引っ越しし、小獣舎から小動物舎に移りました。飼育員があれこれ考えて作ったアスレチックなどは思い通り使っているものもあれば、さっそく壊しにかかっているものもあり、今後も模様替えが行われるかもしれません。

野生では草を食べており、動物園ではその他に野菜やペレットも与えていますが、3頭のお気に入りにはもっぱら生のサツマイモで、午後の餌の時間には立ち上がって両手でイモをつかんで食べている姿が見られます。

## 獣医の日記

この冬はしばしばニュースでも取り上げられているように、野鳥での鳥インフルエンザの発生が例年より多く、警戒の必要な期間も長くなりました。ニワトリなどの家禽に発生した場合は、すぐ殺処分してそこから周囲の農場に感染が広がることを防いでいますが、動物園にいる鳥の中には絶滅の恐れがある種類のものもあり、なんとか動物園内にウイルスを入れない・入ってしまった場合は感染を広げない、という対策が基本になります。

そもそもの原因は、ウイルスに感染した野鳥が、冬に大陸から日本に渡ってくることで、特に感染しやすい水鳥やそれらを食べる猛禽の生息地や、渡りのルートが近くないのであればそれほど心配する必要はないのですが、そのような場所に立ち入ったヒトが体に付けたウイルスを持ちこむ可能性があり、さらに今年は川崎市の近くでも発生してしまったため、急ごしらえの対策をしました。

この期間に来られた方は見たと思いますが、ヒトや車が入ってこられる場所には消毒薬をまき、鳥のいる獣舎はビニールシートで覆いや屋根を作り、…などです。もっと近くで発生した場合や万が一園内で発生した場合、本当なら動物園を立ち入り禁止にした方がよいのですが、この動物園には門が無いのでそれができません。今回はこの程度で済みましたが、正直に言うと、今後さらに悪い状況になった場合のことを考えると、衛生対策の限界には不満も不安も残りました。



### ★動物たちの主な移動(平成29年2月1日～平成29年4月30日)★

ショウコク(♂1死亡)、インドクジャク(♀1死亡)、マーコール(♀1死亡)、アカオヒメシャクケイ(♂1死亡)、ベトナムキジ(♂1死亡、♀1死亡)